

篠崎第二中学校応援団実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

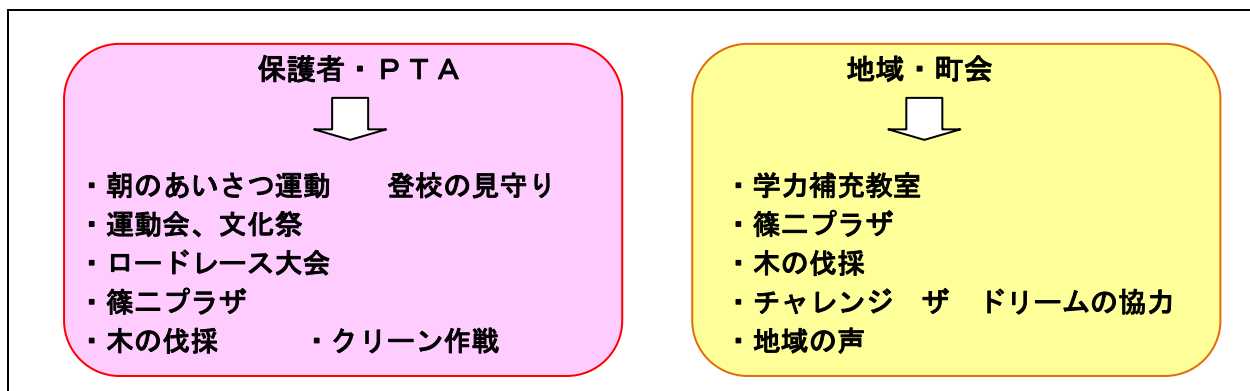
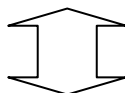
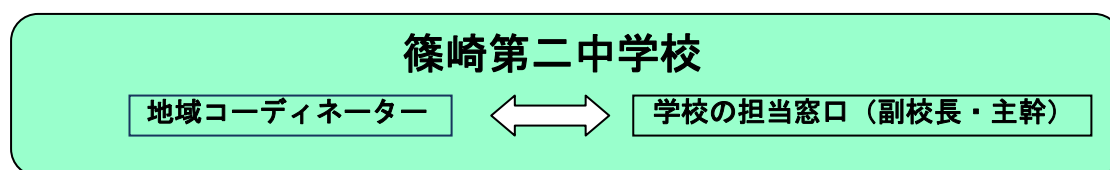
篠崎第二中学校長 益子 博英
 コーディネーター 岩楯 昌一

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 朝のあいさつ運動 運動会 ロードレース大会 	<ul style="list-style-type: none"> 校門でのあいさつ 健全育成 学校周辺の安全確認 自転車整理 マラソンコースの巡回、応援 飲料水提供
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 学習教室 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中の学力補充教室での学習支援
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 篠ニプラザ 木の伐採 クリーン作戦 	<ul style="list-style-type: none"> テント設営 屋台運営 校内の木の伐採 整理 地域清掃 ゴミの整理 スープ提供



3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

《成果》

篠崎第二中学校の周辺地域には、昔から地域あげて学校を盛り上げ、応援していくという良き風土があります。現在もその伝統は受け継がれ、保護者や地域の皆様、PTAのOB・OGの皆様から温かなご支援・ご協力をいただいております。今年度は、将来、教職を目指す篠崎二中の卒業生2名が学校で様々なお手伝いをさせていただいております。学習支援や行事での受付業務、部活動支援、学校公開来校者のリボン作成など多岐にわたり活動をしています。学校応援団として活動した経験は、社会に出たときに活かされることでしょうか。これからも、若い力の活動の場を増やしていきたいと思っております。



地域から愛され、大事にされる学校として、学校応援団の皆様と共に来年度も成長を続けたいと思っております。

《課題》

学校応援団の中心的役割を担っている方々は、地域でも同様に責任ある立場で活躍している方々です。諸取組みを実施する際には、それぞれの立場から声をかけあって活動しております。学校としての諸取組みが増えるにしたがって、学校応援団としての人材を多く確保する必要があります。これまで先輩の応援団の方々が築き上げてきた良き伝統を受け継ぎ、新しい力も加えながら応援団を盛り上げるためには、人材の確保が何よりの課題です。

5 コーディネーターより

この一年間、篠崎二中の諸取組みにご協力とご支援をいただいた多くの方々に、心より感謝申し上げます。学校応援団の一員としての何よりの喜びは、先生方や生徒達、そして関わりをもったたくさんの方々との交流はもちろんですが、取組みの中に【笑顔】がみられることです。今年度も素敵な笑顔にたくさん出会った一年でした。また、篠崎二中の卒業生が、定期的に学校を訪問し、応援団として活動できたことが何よりの喜びです。

今後も、学校が必要とする応援団の力・応援団の知恵を発信しながら、無理なく、自然にお手伝いをさせていただきたいと思っております。学校を中心とした地域の輪と和を感じた一年間でした。今後ともよろしく願いいたします。

6 学校長より

一年間、様々な場面で学校を応援していただきましたこと、心よりお礼申し上げます。学校で行う多くの取組みにたくさんの方が関わり、見守っていただくことは、学校として安心して思い切り活動が展開できる原動力となります。また、生徒達にとりまして、地域の一員としての自覚が高まり、地域への感謝の気持ちも一層強くなったと感じております。様々な場面で声をかけたいただくことで、自信をつけた生徒もいました。今後も、学校の情報を積極的に発信してまいります。今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。

